

川崎異業種研究会(以下略称川異研)は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年に設立され、今年で23年目を迎えております。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

9月分科会報告

9月1日(水)中原市民館会議室にて、午後6時30分より開催、参加者11名を得て、川崎商工会議所 ジョブ・カードプロモーター 渡辺邦生氏より、ジョブ・カード制度に関するご説明と川異研メンバーである(有)知財情報研究所 代表取締役 角南英八郎氏より「安全と安心の最新事情」に関してご講演いただいた。

渡辺氏より、制度概要とともに雇用者側として、①訓練を通じ自社のニーズにマッチした人材の見極めができ、雇用のミスマッチを避けられる、②助成金や特別奨励金を受けることにより、採用や研修のコストを削減することができる、③パート社員を正社員に登用する時にも利用できる等のメリットが紹介され、当日出席していた会員企業からも積極的に活用し



たいとの声が上がっていた。

角南氏には昨年9月に続き同じテーマでのお話をいただいたが、この一年間の更に不透明な世情を反映してか、「安心・安全」の言葉としての意味が多様化している現状が指摘された。その後、場所を変えて和やかな雰囲気のまま、懇親会を開催した。



9月定例会報告

9月9日(木)ミューザ川崎会議室にて、午後6時20分より開催、参加者15名を得て「株式会社東芝における環境への取組みについて」と題し、株式会社東芝小向工場総務部、環境施設担当主務の宮田兼宏氏を講師にお招きし講演会を開催した。宮田氏からは、まず

小向工場の概要について(面積、従業員数、工場の施設内容、作られている製品等)の説明、続いて小向工場の環境への取組みとして、①1996年ISO14001の認証を受けてからスタート、②環境問題への取組みの必要性の背景、③環境保全へ具体的な取組み内容等についての説明がなさ



れた。講演会終了後には、東京電力と契約している電力供給の内容等についての質問もあり、環境問題への関心の高さが伺える有意義な講演会となった。その後、席を移し、懇親会を盛大に開催した。



加入のお問い合わせは

事務局:多摩麻生支所 TEL 044-932-1100